



# ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

## ホップ・ステップ・ジャンプ 改革と推進

藤沢市体育協会 会長 大縫光宏

改革とスポーツの推進を掲げ、関係各位のご支援をいただき、2期目の大役を仰せつかりました。東京五輪1964年に続き、2020年オリンピックパラリンピック東京開催が決まり、藤沢市江の島の地に再び聖火が灯されることになり、スポーツ界はもとより社会全体が大きく羽ばたく転機をむかえようとしている今日でもあります。

規約第4条の目的を具現化するために、健康保持増進の生涯スポーツ(ライフスポーツ)と競技力向上強化普及を図る競技スポーツの2本立てを前面に打ち出し、特別委員会(競技力向上強化普及委員会)を設置、組織の改編、特別委員会運営規程を制定、課題は山積

しているものの一步を踏み出すことができませんでした。特別委員会の各委員さん方にこの場をかりて感謝申し上げます。3専門部に強化普及育成支援部を設け、特別委員会を発展的に解消して今後更に長期的見通し等を加え推し進めることとしました。申すまでもなく強化・普及の財源の確保についてもしつかりと取り組んで行かねばなりません。賛助会員の拡大、藤沢市体育協会夢基金の設置、強化費として支援(推し進める)これもまた一歩進めることができました。

2016年6月4日には70周年を迎えることができました。創立以来70年という節目に当たり、先人の偉業を賛えんと共に本市のスポーツ環境をさらに広め、生涯を通じて市民がスポーツを愛し、親しみ、健康増進し活力あふれる「まちづくり」を一層推進するため、70周年記念式典・祝賀会を盛会に開催することができました。スポーツ関係団体・体協加盟団体等との連携強化・協働の推進を図ることができ喜ばしく心から感謝の意を表したいと思います。

藤沢市江の島において、半世紀振りの東京2020年オリンピックパラリンピックのセーリング競技の開催にあたって、1964年当時の聖火ランナー

を一堂に会し、大会成功の盛り上がり貢献するために聖火ランナーの集いを毎年10月に開催しています。

藤沢市体育協会の現状を省みるに、あまりにも多くの課題が山積しています。協会の安定的な資金収入確保もむずかしく、体育協会運営費の自主財源がなく加盟団体へ交付する補助金から分担金として徴収し財源の一部としているが藤沢市の補助金が限られた金額であり、新たな事業展開ができるまでの財源には至らず、自主事業も参加者の負担金で賄っている現状です。また市のスポーツ施設において、耐久性にも問題が生じており、市の責任で改修や補強といった対策をお願いしたい。

42万もの市民が暮らしている本市に総合的な競技施設がない。例えば陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート、野球場、ソフトボール等の全市民的な大会ができる屋外施設の整備をぜひ実現させて頂きたいと願っています。

市民の日常的なスポーツ活動が、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも一歩でも二歩でも前進することを望みたい。例えば新たに空き地を確保することは難しいと思うので、北部の遊休地を有効活用し、災害時の仮設住宅用地として土地を確保するなどの大胆な発想も取り入れられるようお願いしたい。また一番望むことは善行の県立体育センター(陸上競技場、テニス、バレー等含め)を県より買い戻していただきたい。施設整備の改修も含めてぜひ要望したいと思っています。

また藤沢市体育協会の法人化を進めたい。体育協会に自主財源を確保する手立てがなく、市の関係機関と話し合いを深めて行きたい。

法人化の必要性、問題点、対応策を加盟団体のすべての会員が共有し、総意のもとに法人化を進めたい。また理事会をはじめ加盟団体会長会等で意見交換をお願いします。

青少年に夢と希望が持てる藤沢にしましょう。

「倦まず弛まず」をモットーに精一杯力を振り絞って責務を遂行するよう努めることをお誓いし、挨拶とします。

## 強化普及育成支援部のスタートにあたって

強化普及育成支援部長

波多野 和敬

強化普及育成支援部は、本年度より専門部として発足いたしました。

その目的は、スポーツの啓発活動、愛好者拡大、選手の育成支援発掘、活躍している選手の大会情報収集、指導者派遣、その他強化普及育成支援等となっております。

昨今、各種目競技において若い世代の選手の活躍が報道されておりますが、我が市からも、このような選手を輩出することができればと思っています。

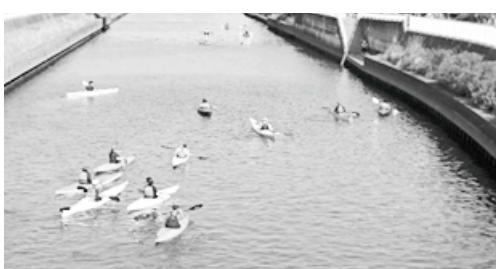
しかし、これらも一朝一夕でできるわけではありません。各協会の選手発掘、育成を地道な活動の経過の上になり立つて行くものと思っています。各協会の皆様からのご意見をいただきながら、活動してまいりたいと思っています。今後とも、宜敷くご指導ご鞭撻をお願いいたします。



昨年度柔道国際大会で優勝し「夢基金」より強化賞を贈呈した飯田健太郎選手



引地川「カヌー体験会」の様子



藤沢市カヌー協会 メールアドレス  
fujisawa.canoe@gmail.com

平成29年5月28日 藤沢市カヌー協会主催の一般の方を対象としたカヌー体験会を実施いたしました。今回は藤沢市や茅ヶ崎市の初心者を中心とした14名の方が参加されました。この体験会の乗艇区域は鶴沼海岸の引地川河口から500m位上流に上った地点の間で行われ比較的 안전한水域で、初心者の方でも参加しやすいイベントとなっています。午後1時30分よりカヌーの漕ぎ方レクチャーが行われ、漕艇に欠かせないパドルの使い方について20分程度説明がありました。

その後、晴天で真夏を思わせる様な天候の中、引地川へカヌーを浮かべ乗艇体験が始まりました。最初は緊張気味の方も5分もすると船を進めることが可能となり、水辺の涼しい風を受けて気持ち良さそうにカヌーを漕いでいました。カヌーやシーカヤックは真夏の暑い中でも水辺の気温は低く、長い時間漕いでも快適なところが特徴の一つです。今回の参加者は早々にその体験をして頂けた様でした。この体験会は5月〜11月の間で毎月開催を予定しています。詳しくは藤沢市カヌー協会までお問い合わせください。(山口)

# カヌー体験会

藤沢市カヌー協会

# 活動の紹介

藤沢市ヨット協会

藤沢市ヨット協会は1990年12月に設立され、「湘南セーリングクラブ」「藤沢市青少年セーリングクラブ」「海のボランティア・マリンスポーツ」等のクラブに所属する約370人の会員がおります。日頃から神奈川県セーリング連盟と協力して、多くの市民が江の島でセーリングを楽しめる環境が得られるように努めており「藤沢市オープンヨットレース」の開催や、江の島で開催される各種レースの運営支援、江の島・トレニングレースの実施などの活動を行っています。

## 健康コラム

### プラスαが食事の質を上げる！

管理栄養士 吉川恵美

じめじめした梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏がやってきます。こまめな水分補給とバランスの良い食事、暑さに負けない体づくりをしたいですね。

食欲の落ちやすい夏は、喉ごしの良いざる蕎麦や素麺・お茶漬けなど、簡単なもので食事を済ませたくなるかもしれませんが、そんな時はちょっとひと工夫。

素麺ならぶっかけにして、温泉卵、トマト、オクラ、若布など、カラフルなトッピングを乗せると不足がちな栄養素をプラスできます。お茶漬けなら、おにぎり用のほぐした鮭や大葉、万能ねぎ、海苔などの薬味をたっぷりのせてみましょう。彩りを目安に食材を足していくと、栄養バランスが整い、筋力やスタミナ維持しやすい食事に変化しますよ。

いつもの食事にプラスαの心がけが、食事の質と運動の効果を引き上げます。バテない体で暑い夏を元気に乗り切りましょう♪



レースなど、正確かつ迅速な競技コース設定や、円滑な競技運営が実施できるように努力しています。(平山)



江の島でのセーリング競技

# グラウンドゴルフ協会

藤沢市グラウンド・ゴルフ協会は、平成8年(1996年)に設立され、平成9年(1997年)に藤沢市体育協会に加盟し、平成29年5月20日現在、29団体が加盟し、会員数が398名です。



グラウンド・ゴルフは、いつでも、どこでも、だれでもできる生涯スポーツとして、ゴルフをアレンジして、昭和57年(1982年)鳥取県で、高齢者に相応しいスポーツとして開発され35年がたちます。

現在では愛好者が全国で200万人以上と言われています。当協会も昨年20周年を迎え、記念事業として昨年9月に近隣7市(参加者429名)の方々をお招きして、秋葉台球技場でオープン大会を開催しました。

今年には既に行われた県大会で、当協会員が多数上位入賞し、神奈川県協会より全国大会、関東大会への出場を推薦を受けております。期待ものです。

鈴木市長の「健康寿命日本一を目指す」、渡辺会長の「健康寿命をのばすスポーツ」という、お二人のお言葉はグラウンド・ゴルフが最適かと思われまます。

# AED救命講習会



熱心に受講する皆さん  
切な心で講習を受けました。終了後の参加者との質疑応答も活発に行われ、AED配備への関心の高さが伺えました。

6月10日(土)9時30分から12時30分まで、秩父宮記念体育館武道室において第5回AED(自動体外式除細動器)救命講習会が藤沢市消防局とNPO法人ふじさわ救命普及推進会のご協力のもと開催されました。講習会には40名ほどの体協関係者が参加する中、心肺蘇生法の大切さ、AEDの取り扱い方法、気道遺物除去法、回復体位、止血法など救急患者を救う適切な応急手当をご指導頂きました。終了後の参加者との質疑応答も活発に行われ、AED配備への関心の高さが伺えました。

# カヌー協会



第7回 藤沢市カヌースプリント選手権大会

足りました。以来、競技選手育成環境づくりやカヌーの普及に取り組んできました。現在でも競技では多数の全国レ

1981年の鵜沼公民館主催のカヌー教室を契機に、湘南カヌースポーツクラブが発足。引地川を拠点に五輪競技であるカヌー・スプリントで小学生や中学生の全国優勝者や高校総体・国体の代表選手を数多く輩出し、クラブ出身者から五輪選手も生まれました。2008年、湘南カヌースポーツクラブと共に、シーカヤックの愛好家や、障害者を問わず楽しめるユニバーサルカヌーの開発者などが集まり、藤沢カヌー協会が発



「第32回スポーツ人の集い」表彰選手を囲んで

ベルの選手を輩出し、カヌー普及イベントでも多彩なプログラムを展開しています。具体的には、定例記録会(引地川)、藤沢市カヌースプリント選手権大会などの主催競技大会の実施や、普及事業として初心者などへのカヌースクール主催事業の実施と湘南地域モデルとしてのユニバーサルカヌー体験への協力事業等を行っております。

・広報部会の皆さんのご協力のもと、何とか入稿することができました。各協会の紹介は、それぞれの特徴がよく記されており、活動がわかる内容となっております。  
・AEDの講習も体育協会の事業として定着してきました。10名程度ずつのグループに分かれての体験講習は、皆が声を出し、体を動かすことにより、実りあるものとなりました。  
・日大藤沢高校が夏の高校総体に県代表で出場し、準優勝という嬉しいニュースがありました。  
・本格的な夏を迎えますが、暑さ対策をしっかりと行い、スポーツを楽しみましょう。

## 編集後記

(中塚)

(山口)

(杉淵・平山)